フットベースボール競技実施要領（知的）

１．競技規則

平成２９年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（(公財)日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

２．チーム

チームの構成は、監督１名、コーチ２名、選手１５名以内とし、男女は問わない。

３．競技方法

（１）試合は、参加チームによるリーグ方式とする。ただし、主催者の判断によりトーナメント方式とすることができる。グ方式と

（２）試合は、７イニング制とし、試合開始後６０分を経過した後は、新しいイニングに入らない。また、同点の場合は、最終出場選手９名の抽選により決定する。

（３）コールドゲームは、４回以降１０点差とする。

（４）試合球は、サッカーボール（小学校教育用ゴム製４号球）とする。

（５）１回で５点を取った場合、その時点で攻守を交代する。

（７）指名選手（ＤＰ制）、再出場（リエントリー制）を採用する。

（６）その他、監督会議において申し合わせ事項を設けて競技することができる。

４．服装等

（１）金属製のスパイクの使用は、禁止する。

（２）同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色･同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。

（３）ユニフォームの背中に登録番号をつけなければならない。

なお、数字の大きさは、１５ｃｍ四方以上とし、監督は３０番、コーチは３１・３２番、主将は１０番とし、他の選手は１～９９までの番号とする。胸下の番号は各チーム一任するが、つける場合は全員とすること。

（４）危険防止のため手袋を使用してもよい。ただし、投手が使用する手袋はボール以外の色でなければならない。

５．組合せ

組合せは、事前に開催する監督会議の場において決定する。開催日時は別途参加チームに連絡する。

６．打順表

打順表は５部作成し、試合当日の監督会議にて提出する。

攻守順の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、「コイントス」によって決定する。

なお、打順表は、事前に開催する監督会議の場において配布する。

７．その他

（１）ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを一塁側とする。

（２）ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。

（３）組合せ抽選の１番のチームの主将が選手宣誓を行うこととする。